

アンケート 記入者	所属部署		電話番号	
	お名前		E-Mail	

問 1. 貴事業所の概況についてお答えください

①. 貴事業所の概要について下表へご記入ください。

会 社 及 び 事 業 所 名	
事 業 所 所 在 地	〒
業 種	(下の<業種分類表>の番号をご記入ください)
従 業 者 数	【総従業者数】 人 【うち正社員数】 人
年 間 出 荷 額	百万円 (平成 16 年度実績)

<業種分類表>

製 造 業	
1. 食料品製造業	13. なめし革・同製品・毛皮製造業
2. 飲料・たばこ・飼料製造業	14. 窯業・土石製品製造業
3. 繊維工業	15. 鉄鋼業
4. 衣服・その他の繊維製品製造業	16. 非鉄金属製造業
5. 木材・木製品製造業	17. 金属製品製造業
6. 家具・装備品製造業	18. 一般機械器具製造業
7. パルプ・紙・紙加工品製造業	19. 電気機械器具製造業
8. 印刷・同関連業	20. 情報通信機械器具製造業
9. 化学工業	21. 電子部品・デバイス製造業
10. 石油製品・石炭製品製造業	22. 輸送用機械器具製造業
11. プラスチック製品製造業	23. 精密機械器具製造業
12. ゴム製品製造業	24. その他の製造業
卸 売 ・ 小 売 業	
25. 各種商品卸売業	37. 鉄道業
26. 繊維・衣服等卸売業	38. 道路旅客運送業
27. 飲食料品卸売業	39. 道路貨物運送業
28. 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	40. 水運業
29. 機械器具卸売業	41. 航空運輸業
30. その他の卸売業	42. 倉庫業
31. 各種商品小売業	43. 運輸に付帯するサービス業
32. 織物・衣服・身の回り品小売業	
33. 飲食料品小売業	
34. 自動車・自転車小売業	
35. 家具・じゅう器・機械器具小売業	
36. その他の小売業	

②. 貴事業所の敷地面積と延床面積をご記入ください。

敷地面積 m² 延床面積 m²

③. 貴事業所の立地状況について、あてはまる全ての番号に○印をおつけください。

1. 集団立地（工業団地、流通団地内など） 2. 単独立地
3. 共同ビル、雑居ビル 4. その他（ ）

④. 貴事業所の敷地の所有形態について、あてはまる全ての番号に○印をおつけください。

1. 所有 2. 賃貸 3. その他（ ）

⑤. 貴事業所立地場所の都市計画上の用途地域について、あてはまる全ての番号に○印をおつけください。

1. 工業専用地域 2. 工業地域 3. 準工業地域 4. 商業地域
5. 近隣商業地域 6. 準住居地域 7. 第1種、第2種住居地域
8. 第1種、第2種中高層住居専用地域 9. 第1種、第2種低層住居専用地域
10. 指定なし（都市計画区域内） 11. 都市計画区域外 12. わからない

⑥. 貴事業所が有する施設に全て○印をおつけいただき、その中で主な機能ひとつに◎印をおつけください。

- | | | | |
|------------|-----------|------------|---------|
| 1. 製造機能 | 2. 販売機能 | 3. 営業・事務機能 | 4. 保管機能 |
| 5. 積み替え機能 | 6. 荷さばき機能 | 7. 流通加工機能 | |
| 8. その他 () | | | |

⑦. 貴事業所の最寄りの幹線道路及び高速道路の I C（インターチェンジ）の名称をご記入ください。
次に、そこまでの距離及び所要時間をご記入ください。

注 1) 幹線道路は、国道あるいは片側 2 車線以上の道路とします

注 2) 所要時間は、平日の昼間の自動車利用による平均時間としてください

1) 幹線道路…………… 名称: まで 約 km・約 分

2) 高速道路の I C …… 名称: I C まで 約 km・約 分

⑧. 貴事業所の現在の立地場所での開設年、立地区分等について、ご記入ください。

現在の立地場所での開設年……………西暦 年

立地区分…… 1. 新規の立地 2. 移転による立地



【移転前の住所】

府 県 市 郡 区 町村 丁 字

【移転前の敷地面積】 m²

問 2. 貴事業所への貨物の搬入・搬出状況についてお答えください

①. 貴事業所における貨物の搬出・搬入の有無について、あてはまる番号に○印をおつけください。

注) 書類等は貨物に含みません

- | | | |
|--------------------------|---|---|
| 1. 貨物の搬出（出荷）・搬入（入荷）ともにあり | } | 引き続き②にお進みください。 |
| 2. 貨物の搬出のみあり | | |
| 3. 貨物の搬入のみあり | | |
| 4. 貨物の搬出・搬入ともになし | → | 4.を選択された方については、これで質問は終了です。
アンケート票をご投函ください。 |

②. 貴事業所の搬出入貨物について、主要品目別の平均的な1日あたり（平成17年9月の1ヶ月の営業日1日あたりの平均）の貨物量等についてご記入ください。

注）輸出・輸入がない場合は輸出・輸入比率に「0」とご記入ください。

【搬出（出荷）貨物】

品目 (表1の番号)	1日あたりの 搬出量	1日あたりの 搬出貨物 個数	1日あたりの 搬出 回数	輸送時の 荷姿(表2 の番号)	製品 分類(表3 の番号)	輸出 比率(重 量ベース)
合 計	kg	個	回			割
1) もっとも多い品目	kg	個	回			割
2) 2番目に多い品目	kg	個	回			割
3) 3番目に多い品目	kg	個	回			割
1)～3)以外のその他品目計	kg	個	回			割

＜表2 荷姿分類表＞

1. ハダカ・バラ
2. パレットに積載
3. 鉄道コンテナに積載
4. 海上コンテナに積載
5. 上記以外のダンボールケース
6. その他()

＜表3 製品分類表＞

A. 製品・商品
B. 半製品・仕掛品
C. 原材料(部分品)・貯蔵品

【搬入（入荷）貨物】

品目 (表1の番号)	1日あたりの 搬入量	1日あたりの 搬入貨物 個数	1日あたりの 搬入 回数	輸送時の 荷姿(表2 の番号)	製品 分類(表3 の番号)	輸入 比率(重 量ベース)
合 計	kg	個	回			割
1) もっとも多い品目	kg	個	回			割
2) 2番目に多い品目	kg	個	回			割
3) 3番目に多い品目	kg	個	回			割
1)～3)以外のその他品目計	kg	個	回			割

＜表1 品目分類表＞

1. 農水産品（定温）	穀物、野菜・果物、その他の農産品、水産品、畜産品、（加工品は除く）のうちで温度管理が必要なもの	11. 鉱産品	砂利・砂・土・石材、原油、天然ガス、金属鉱、石炭、石灰石、その他の非金属鉱
2. 農水産品（常温）	穀物、野菜・果物、その他の農産品、水産品、畜産品、（加工品は除く）のうちで温度管理が不要なもの	12. 金属工業品	鉄鋼、非鉄金属、金属製品
3. 食料工業品（冷凍）	冷凍保管が必要な食料工業品	13. 一般機器	一般機器
4. 食料工業品（定温）	冷蔵保管や温度管理が必要な食料工業品	14. 電気機器	電気機器
5. 食料工業品（常温）	温度管理が不要な食料工業品	15. 輸送機器	輸送機器
6. 食料工業品を除く軽工業品	紙・パルプ、繊維工業品	16. 精密機器	精密機器
7. 出版・印刷物	出版・印刷物	17. 窯業品	陶磁器・ガラス、セメント、生コン、その他のセメント製品、れんが・石炭・その他窯業品
8. 日用品	家具装備品・台所用品、衣料・身回品・はきもの、文房具・楽器・玩具、運動娯楽用品、医薬品、化粧品、その他日用品	18. 化学工業品	揮発油、灯油・軽油、重油、石油ガス、その他の石油製品、石炭製品、化学薬品、化学肥料、その他化学工業品
9. 日用品を除く雑工業品	ゴム製品、皮革製品、その他の製造工業品	19. 特殊品	建設残土、金属くず、動植物性飼肥料、その他の廃棄物、輸送用容器類
10. 林産品	原木、製材・その他の林産品・薪炭	20. 不明	不明

問3. 貴事業所の貨物車の発着状況についてお答えください

貴事業所の貨物車の発着台数と搬出入貨物量について、1日あたり延べ発着台数、搬出入貨物量及び積載効率をご記入ください。

注) 積載効率は満載に対する平均的な積載量の比率で、 $\text{積載効率} = \text{平均的な積載量} / \text{最大積載量} \times 100$ となります。

【貴事業所からの貨物車の発台数と搬出貨物量】

車種区分			1日当たり 延べ発台数	1日当たり 延べ搬出貨物量	積載効率
1日当たり合計					
営業用 トラック	海上コンテナ輸送車（トレーラ）				
	鉄道コンテナ輸送車（トレーラ）				
	1車 貸切	最大積載重量5ト以上			
		最大積載重量5ト未満			
	混載便、小口集配車など				
自家用 トラック	最大積載重量5ト以上				
	最大積載重量5ト未満				

【貴事業所への貨物車の着台数と搬入貨物量】

車種区分			1日当たり 延べ着台数	1日当たり 延べ搬入貨物量	積載効率
1日当たり合計				kg	
営業用 トラック	海上コンテナ輸送車（トレーラ）			kg	
	鉄道コンテナ輸送車（トレーラ）			kg	
	1車 貸切	最大積載重量5ト以上		kg	%
		最大積載重量5ト未満		kg	%
	混載便、小口集配車など			kg	
自家用 トラック	最大積載重量5ト以上			kg	%
	最大積載重量5ト未満			kg	%

問 4. 貴事業所の搬出入貨物の仕向先・仕出元の割合についてお答えください

貴事業所の搬出入貨物の仕向先・仕出元別の割合（重量ベース）を、ご記入ください。

地 域	搬出（出荷）貨物の 仕向先別割合	搬入（入荷）貨物の 仕出元別割合
1. 貴事業所の所在地と同一の市区町村内	%	%
2. 貴事業所の所在地に隣接する市区町村内	%	%
3. （上記以外の）同一府県内	%	%
4. （上記以外の）近畿 2 府 4 県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）	%	%
5. 近畿以外の東日本（近畿 2 府 4 県以东）	%	%
6. 近畿以外の西日本（近畿 2 府 4 県以西）	%	%
7. 海外	%	%
貨物量合計	100%	100%

問 5. 貴事業所の搬出入貨物の詳細な内容についてお答えください

すべての搬出入貨物について、搬出先・搬入元の市区町村、1日あたりの搬出量・搬入量、品目、輸送手段等を搬出・搬入量（重量ベース）の多い順に右表へご記入ください。

- 注 1) 搬出先/搬入元の住所は、近畿 2 府 4 県内は市区町村単位（例：大阪府大阪市中央区）、近畿 2 府 4 県以外は都道府県単位（例：東京都）でご記入ください。
- 注 2) 輸出入の場合は、相手先国名を都道府県の欄にご記入ください。
- 注 3) 主な品目は表 1 の品目分類表から（品目の詳細は 3 ページに示す表で御確認ください）1～20 の番号を選んでご記入ください。
- 注 4) 主な輸送手段（最も利用距離の長い輸送手段）は表 2 の輸送手段分類表から 1～11 の番号を選んでご記入ください。

＜表 1 品目分類表＞

1. 農水産品 （定温）	6. 食料工業品を 除く軽工業品	11. 鉱産品	16. 精密機器
2. 農水産品 （常温）	7. 出版・印刷物	12. 金属工業品	17. 窯業品
3. 食料工業品 （冷凍）	8. 日用品	13. 一般機器	18. 化学工業品
4. 食料工業品 （定温）	9. 日用品を除く 雑工業品	14. 電気機器	19. 特殊品
5. 食料工業品 （常温）	10. 林産品	15. 輸送機器	20. 不明

＜表 2 輸送手段分類表＞

1. 営業用トラック	海上コンテナ輸送車（トレーラ）
2. "	鉄道コンテナ輸送車（トレーラ）
3. "	1 車貸切 最大積載量 5 トン以上
4. "	1 車貸切 最大積載量 5 トン未満
5. "	混載便、小口集配車など
6. 自家用トラック	最大積載量 5 トン以上
7. "	最大積載量 5 トン未満
8. 鉄 道	
9. 船 舶	
10. 航 空 機	
11. その他	

【①. すべての搬出（出荷）貨物】

順位	搬出（仕向）先住所					1日あたり 搬出貨物量	主な品目 （品目分類 番号）	主な中継地名 （貨物駅・港湾・ 空港）	主な輸送手段（輸送手段 分類番号）
1		都道府県		市郡	区町村	kg			
2		都道府県		市郡	区町村	kg			
3		都道府県		市郡	区町村	kg			
4		都道府県		市郡	区町村	kg			
5		都道府県		市郡	区町村	kg			
6		都道府県		市郡	区町村	kg			
7		都道府県		市郡	区町村	kg			
8		都道府県		市郡	区町村	kg			
9		都道府県		市郡	区町村	kg			
10		都道府県		市郡	区町村	kg			

【②. すべての搬入（入荷）貨物】

順位	搬入（仕出）元住所					1日あたり 搬入貨物量	主な品目 （品目分類 番号）	主な中継地名 （貨物駅・港湾・ 空港）	主な輸送手段（輸送手段 分類番号）
1		都道府県		市郡	区町村	kg			
2		都道府県		市郡	区町村	kg			
3		都道府県		市郡	区町村	kg			
4		都道府県		市郡	区町村	kg			
5		都道府県		市郡	区町村	kg			
6		都道府県		市郡	区町村	kg			
7		都道府県		市郡	区町村	kg			
8		都道府県		市郡	区町村	kg			
9		都道府県		市郡	区町村	kg			
10		都道府県		市郡	区町村	kg			

注）記入欄が足りない場合（仕向先または仕出元市区町村が10カ所以上ある場合）は、記入欄（本頁）をコピーのうえ、すべての貨物についてご記入ください。

問5①の搬出量の多い上位3位までの仕向先について、それぞれの利用ルート、時間指定の状況等についてご記入ください。

＜時間指定の分類表＞

1. 分単位で指定
2. 1時間単位で指定
3. 2～3時間の幅の単位で指定
4. 日のみ指定
5. その他
()
6. 時間指定なし

7